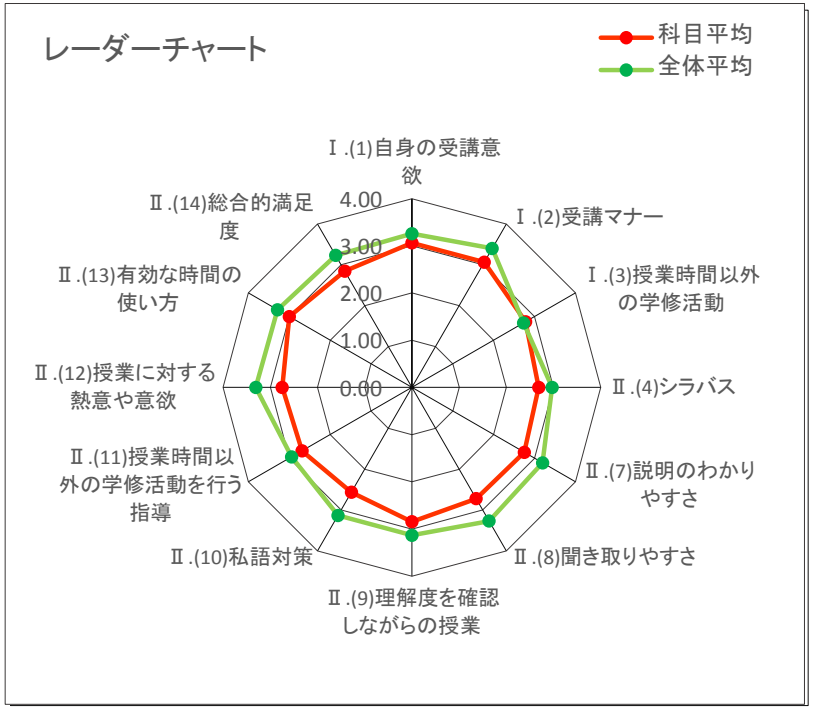
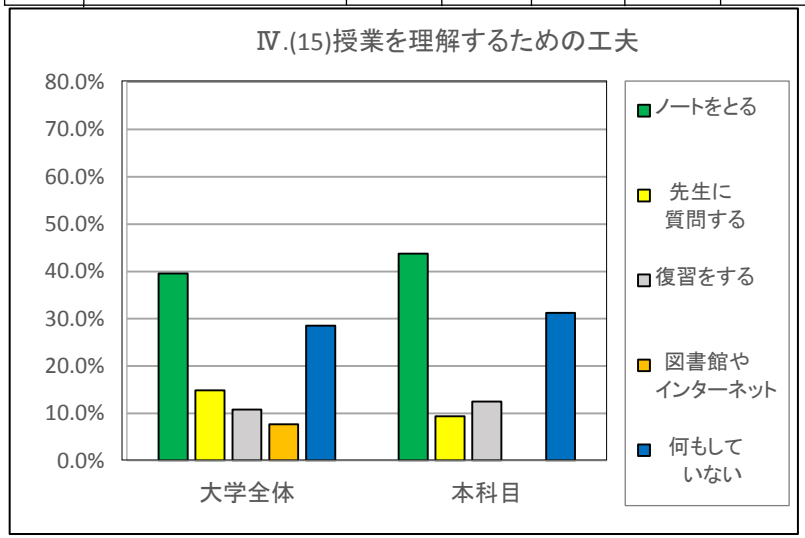
講義科目　授業アンケート結果



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	Ⅰ.(1)	3.06	3.26
	Ⅰ.(2)	3.06	3.40
	Ⅰ.(3)	2.78	2.73
講義内容・方法	Ⅱ.(4)	2.69	2.97
	Ⅱ.(5)		
	Ⅱ.(6)		
	Ⅱ.(7)	2.75	3.20
	Ⅱ.(8)	2.72	3.27
	Ⅱ.(9)	2.84	3.13
	Ⅱ.(10)	2.56	3.13
	Ⅱ.(11)	2.69	2.94
	Ⅱ.(12)	2.75	3.31
	Ⅱ.(13)	3.00	3.29
満足度	Ⅱ.(14)	2.84	3.23

※レーダーチャートの平均は4段階評価　4(そう思う)、3(ややそう思う)、2,（あまりそう思わない）、1（そう思わない）

〈※複数選択可項目〉		ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
Ⅳ.(15)	授業を理解するための工夫	43.8%	9.4%	12.5%	0.0%	31.3%



	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 Ⅰ.(1)～(3)	2.97	3.13
講義内容・方法 Ⅱ.(4)～(13)	2.75	3.15
総合的満足度 Ⅲ.(14)	2.84	3.23

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2014年度　前期
時間割番号	23101
科目名	英語Ⅰ
教員名	

①授業計画の達成度について

新学部1年次生の前期の英語Ⅰということもあって、これまでの既存2学部での経験をもとに、世界のある有名人の話、地球環境の今と昔の話、日本とアメリカの若者のEメールでのやり取りの英文を題材に、基礎的な語（句や）文法に力点を置き、またさらにそれに見合ったレベルの短い英作文も取り入れるなどして、当初の計画どおり無事に終えることができ、また主眼としていた基礎学力の確認と向上についてもほぼ達成できたのではないかと思う。難易度については例年どおり学生の評価はまちまちのようであったが、おおむね適切ではなかったかと感じている。

②授業の進め方について

説明の仕方や話し方についてはやや早口であったのは反省点であろう。理解度の確認と向上については、授業の終わりに出席カードに必ず語（句）やミニ英作文の答えを書かせ、またその次の時間には特にミニ英作文の答えとそれについての解説を行なった。授業環境については、学生はおおむね皆明るく元気で生き生きとしている反面、またそれがかえって私語の多さというマイナスの状況にもなってしまっていたのは反省点である。満足度については、これも学生によってまちまちではあるが、とにかく全体平均をやや下回っているようではまだまだだと言わざるをえないであろう。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

既存2学部に比べ、学生の英語力はおおむね高いと思われる一方で個人差も大きく、かなり注意を要するケースもあることは確かである。しかしだからこそ基礎を重視したレベルからやや発展的なレベルのものまで広範囲なレベルを網羅した形で授業を進めていくことはやはり重要であろう。初めて新学部の一期生と向き合ってみて戸惑うこともあったが、おおむね今の路線で授業を進めていくのがいいのではないかと思う。ただ授業が従来どおり和訳中心の形になっていることに対する不満の声も一部に見られたし、話し方、板書の仕方、私語対策など相変わらず反省点はいろいろである。そして当然ながら、さらに後期からはもう少し教材、題材の選び方、授業のスタイルにもう少し何らかの工夫が必要ではないかと思う。

奈良学園大学